

2025.6.24(火)

課題 説明会



GovTech Challenge OKAYAMA

参加無料／オンライン開催



教職員課

#教員不足の解消
#ニーズ把握と情報発信



産業振興課

#補助金情報を分かりやすく
#企業や個人事業主向け



衛生課

#保護犬の譲渡促進
#特に中型犬の雑種を！



庭園都市 推進課

#公園をより良い場所へ
#市民の隠れた声を聞きたい



農村整備課

#ため池の水質浄化
#サステナブルな方法を

たくさん
の
ご
参
加
を
お
待
ち
し
て
ま
す
！

主催：岡山市／運営：NPO法人コミュニティリンク



開 始 の ご 案 内

本日の流れ

時間	内容
15:00 - 15:05	開会の挨拶
15:05 - 15:10	GovTech Challenge OKAYAMAの流れ
15:10 - 15:40	各担当課より課題説明
15:40 - 15:45	全体Q&A
15:45 - 16:25	ブレイクアウトルーム 担当課との質疑応答
16:30	終了

事務局からの

事業説明

GovTech Challenge OKAYAMA (GCO) とは？

市職員とスタートアップが協働して
行政課題や社会課題の解決に取り組むことで、
市の課題解決とスタートアップの成長を目指す取り組み



2025年度の募集テーマ



実証支援金 最大 **50** 万円

岡山市の未来を担う教員を！
「やってみたい」を引き出す出
会いと情報伝達の革新

教職員課



実証支援金 最大 **50** 万円

どんな中小企業でも迅速に必要な
支援情報が手に入る環境を！

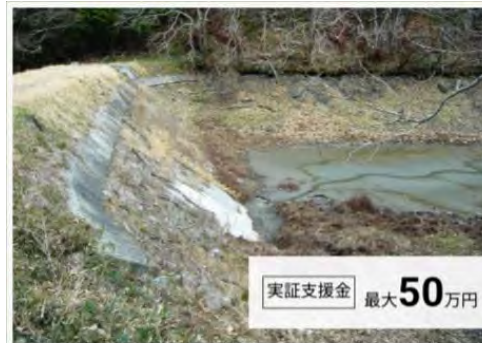
産業振興課



実証支援金 最大 **50** 万円

殺処分ゼロの先へ。保護犬の未
来を拓く譲渡戦略とは？

衛生課



実証支援金 最大 **50** 万円

ため池の潜在的リスクに対応！
革新的な水質浄化技術、求む！

農村整備課



実証支援金 最大 **50** 万円

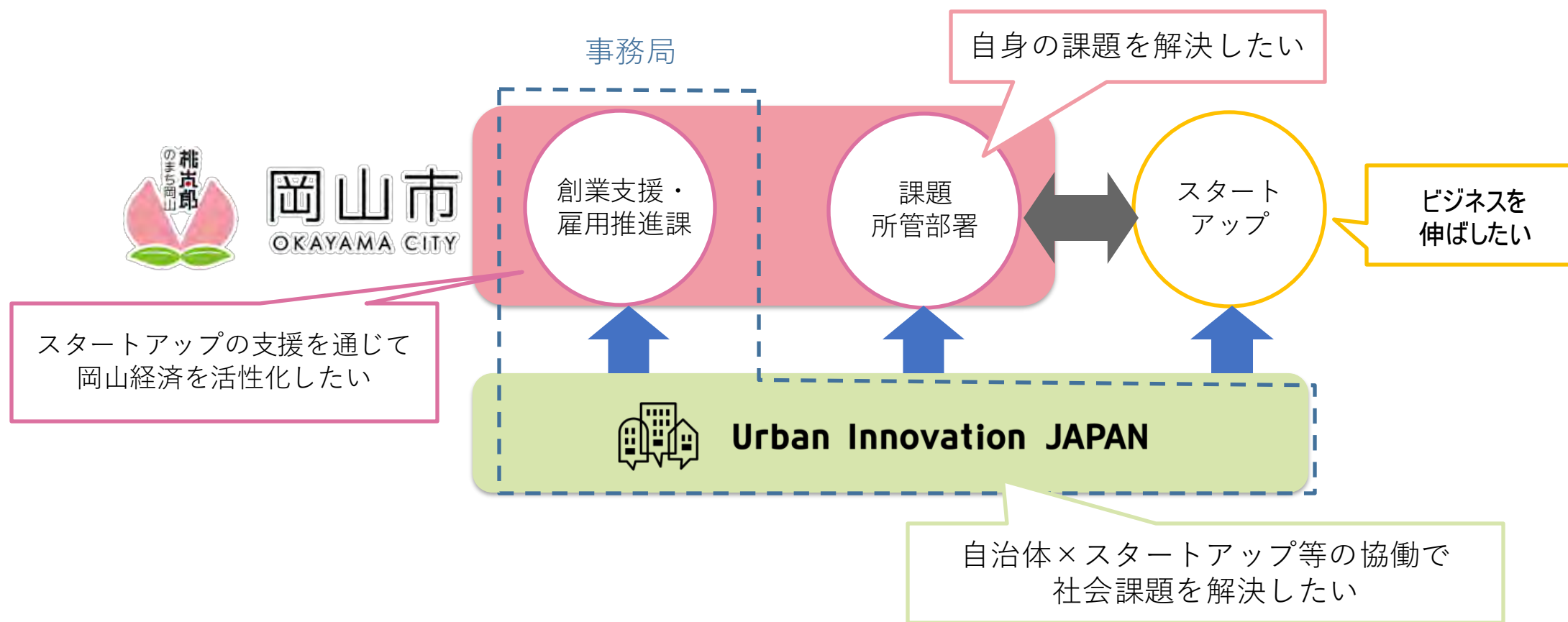
公園の隠れた声を発掘！真の
ニーズ把握で公園をよりよい場
所に

庭園都市推進課

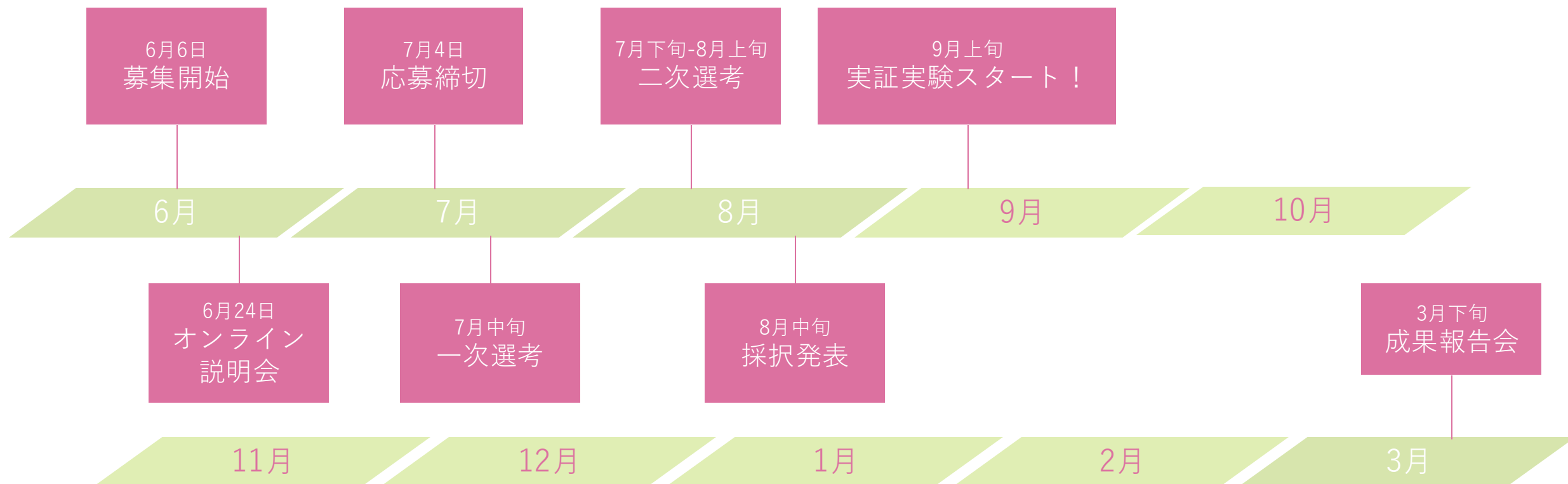


プロジェクト実施体制

スタートアップと課題所管部署の協働を
創業支援・雇用推進課とUrban Innovation Japanが支援



全体スケジュール



スタートアップの参加メリット

PR効果

製品・サービスのテスト

本格導入・他自治体への展開

スタートアップへの期待・お願いしたいこと

1

課題解決のアイデア・技術

企業等の技術やノウハウを基にした課題解決アイデアのご提案。

2

実証実験の企画・運営

担当課職員と協働で実証実験を進める。特に技術的なサポートを期待。
※事務局も企画・運営をサポート

3

成果報告サポート

実証実験成果のデータ集計や考察などの取りまとめをサポートいただく。



事務局からの3つのサポート



実証補助 最大50万円/課題



実証フィールドの提供



行政職員とUIJ事務局の
プロジェクトサポート



メディア掲載実績

岡山で行政課題の解決案募集「ガブテック・チャレンジ」 観光など4部門



岡山市が現在、行政課題をスタートアップ企業から解決案を募集する「GovTech（ガブテック）challenge OKAYAMA 2024」の応募を受け付けている。主管は岡山市雇用推進課スタートアップ支援係。（岡山経済新聞）

岡山市とスタートアップ企業が連携の課題解決事業 成果を報告

03月25日 16時12分



岡山市がかかえるさまざまな課題の解決に、テクノロジーや新しいアイデアで取り組んだ成果を報告する会が、25日開かれました。

岡山市は、いわゆるスタートアップ企業と連携して、社会や行政が抱える課題に取り組む実証事業を行っています。

市役所で開かれた報告会では、今年度（令和5年度）実施した5つの事業について、取り組みの状況が説明されました。

このうち課税管理課では、従業員の給与から天引きされる税金の通知をめぐり企業などから問い合わせが殺到して、回答に時間がかかっているという課題があり、AI＝人工知能による自動の電話対応を進めているということです。

また人権推進課では、SNSを使って人権問題を伝える取り組みで、高校生と一緒に動画コンテンツを制作し、16本の動画の再生回数はこれまでに62万回を超えたということです。

岡山市創業支援・雇用推進課の河合祥次 課長は「今までどおりのやり方ではクリアできない課題が出てきている。市役所の中の課題を洗い出し、全国のスタートアップ企業と先駆的な事業を進めていきたい」と話しています。

メディア掲載実績



応募方法



Urban Innovation JAPAN

自治体とスタートアップをマッチング

プラットフォームの仕組み

課題を探す

実証事例

応募時のポイント

Q&A

[自治体向けページはこちら](#)

実証に応募する

岡山市 (岡山県)

岡山市では、スタートアップの成長支援とデジタル技術等を活用した社会・行政課題の解決を目的とした新たな事業として「GovTech Challenge OKAYAMA」を実施しております。今年度も本事業を通じて、スタートアップの成長支援をさらに加速していきたいと考えており、最先端の技術や斬新なアイデアで課題解決のご提案をしていただけるスタートアップを募集します。岡山市を社会実証フィールドとして、一緒に課題解決にチャレンジしてみませんか。みなさまのご参加をぜひお待ちしております！

説明会に参加する



募集中



愛知県
06.30
まで



岡山市
07.04
まで



名古屋市
07.13
まで



山口県
07.16
まで



選考プロセス

6月6日～7月4日

WEBから
応募

7月中旬

書類審査
※必要に応じて
事務局ヒアリング

事務局にて採点

7月下旬～8月上旬

担当部署による
面談

各社30分～1時間程度
担当部署と企業とで1時間程度
可能な限りデモを確認



お問い合わせ

詳しい募集要項はホームページをご覧ください。

募集要項

募集対象	自治体職員との協働による社会・行政課題の解決と新ビジネス・サービスの創出を目指すスタートアップ（ゼブラ企業を含む）が対象となります。
募集内容	岡山市内において選定した社会課題、行政課題について、先進技術を活用した解決策の提案を募集します。提案内容については、審査のうえ、実証の実施を決定します。課題の内容は募集課題一覧よりご確認ください。
支援内容	実証にかかる実証プロジェクト経費の支払 1件あたり50万円（税込み）上限
応募方法	Webフォームからお申し込みください。

ご質問は以下の事務局メールアドレスまでご連絡ください。※担当課への直接のお問合せはご遠慮ください。

連絡先

GovTech Challenge OKAYAMA事務局/ Urban Innovation JAPAN事務局
urban_innovation_japan@communitylink.jp

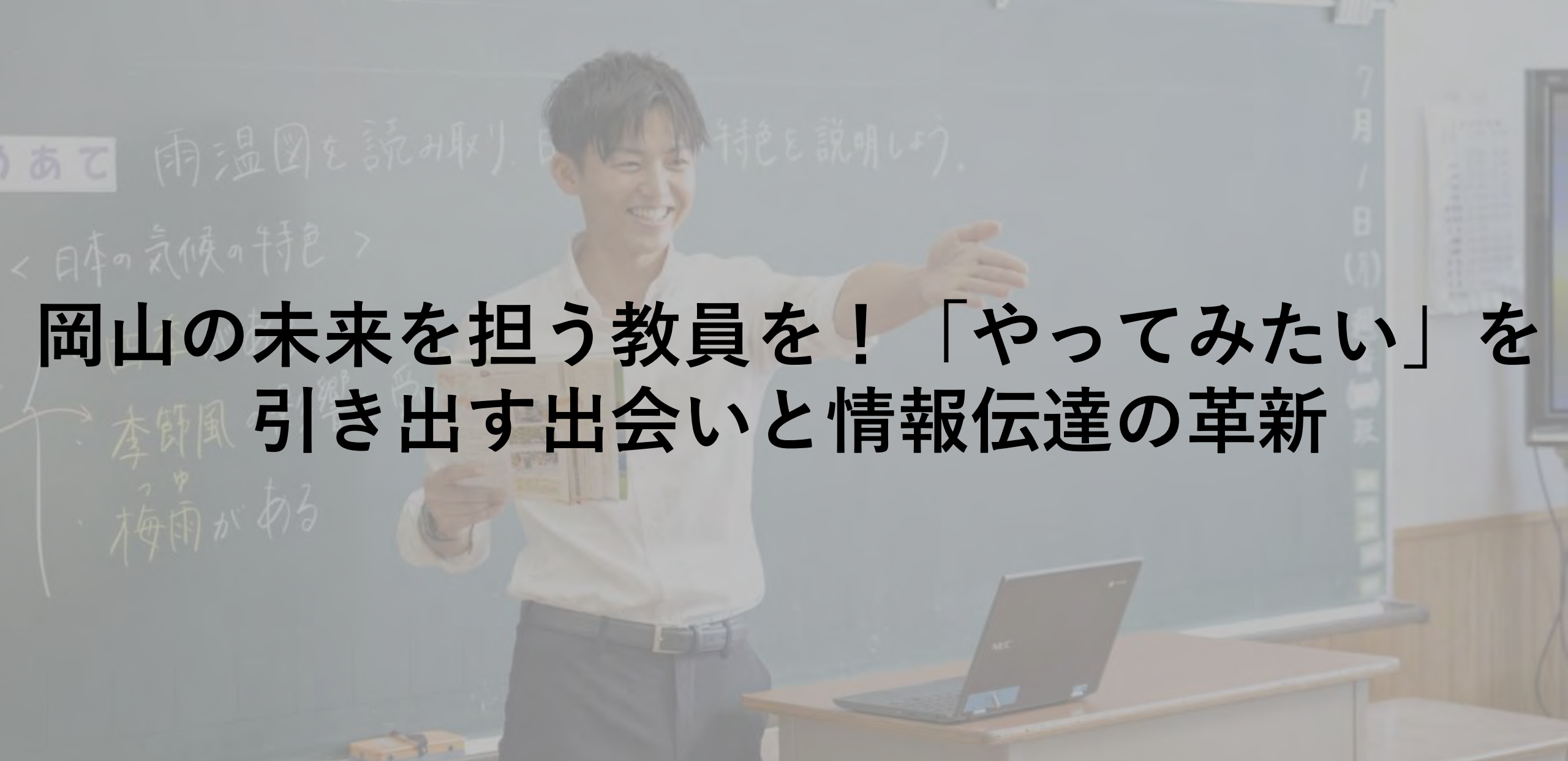


こんなスタートアップからの応募を お待ちしております！

- ✓ 本気で社会をよくしたいと思っている
- ✓ 地域・行政関係で新しいビジネスを作ろうとしている
- ✓ リスクをとって事業拡大を目指している

担 当 課 に よ る

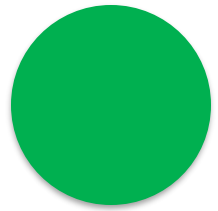
課 題 説 明



岡山の未来を担う教員を！「やってみたい」を 引き出す出会いと情報伝達の革新

教職員課

1. 解決したい課題、その背景



将来を担う子どもたちの教育現場において、
教員の人手不足が深刻化しています。



正規職員の充足はもちろんのこと、
臨時職員や非常勤講師の確保も喫緊の課題



ネガティブなイメージが先行し、
教職の魅力ややりがい十分に伝わっていない



2.課題に対してこれまでやってきたこと

私たちは様々な方法で教職の魅力を発信してきました。



駅や駅連絡通路のデジタルサイネージ



チラシ配付



イベントへの参加、ラジオやTVの出演



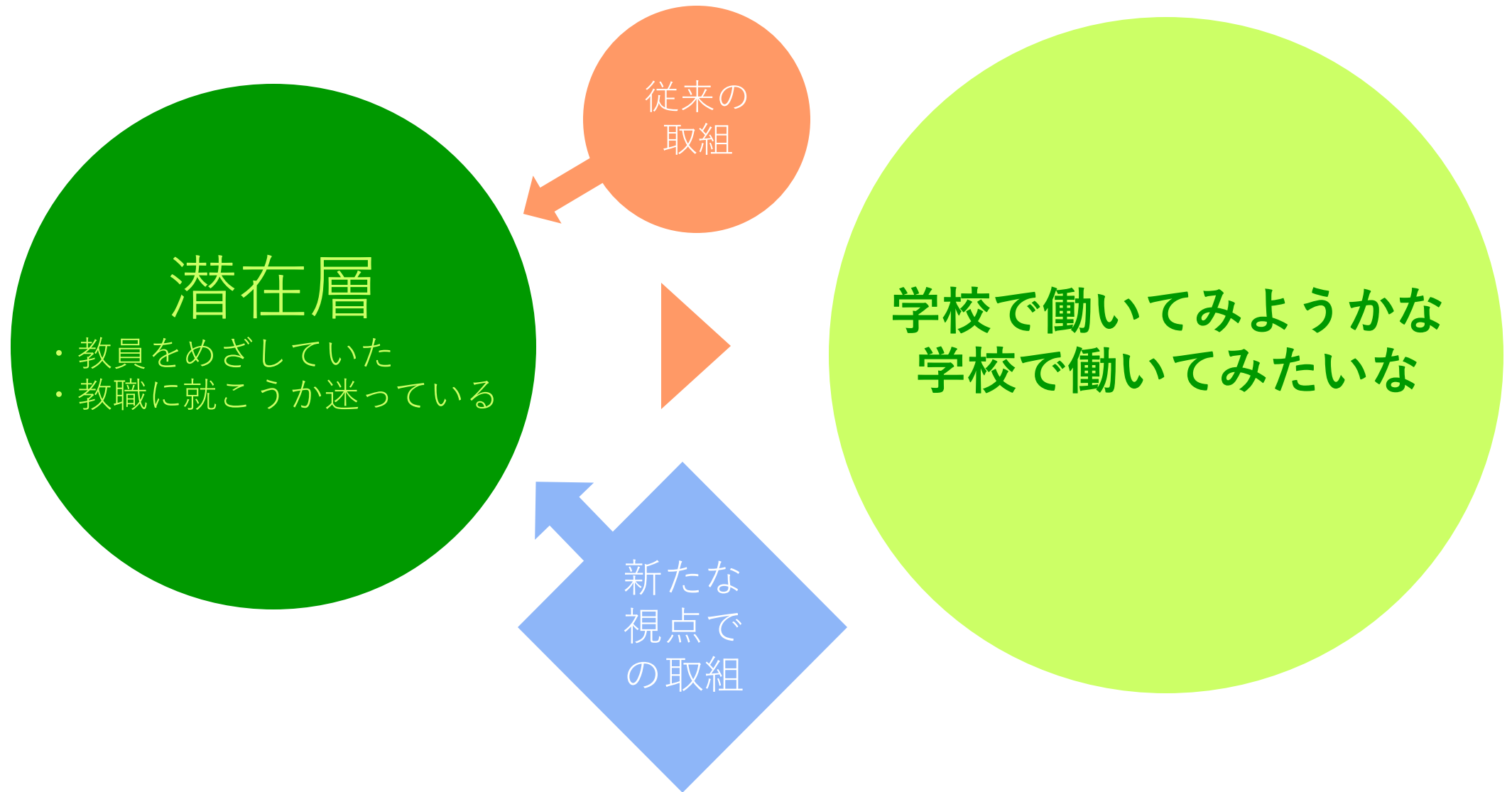
イベントの開催



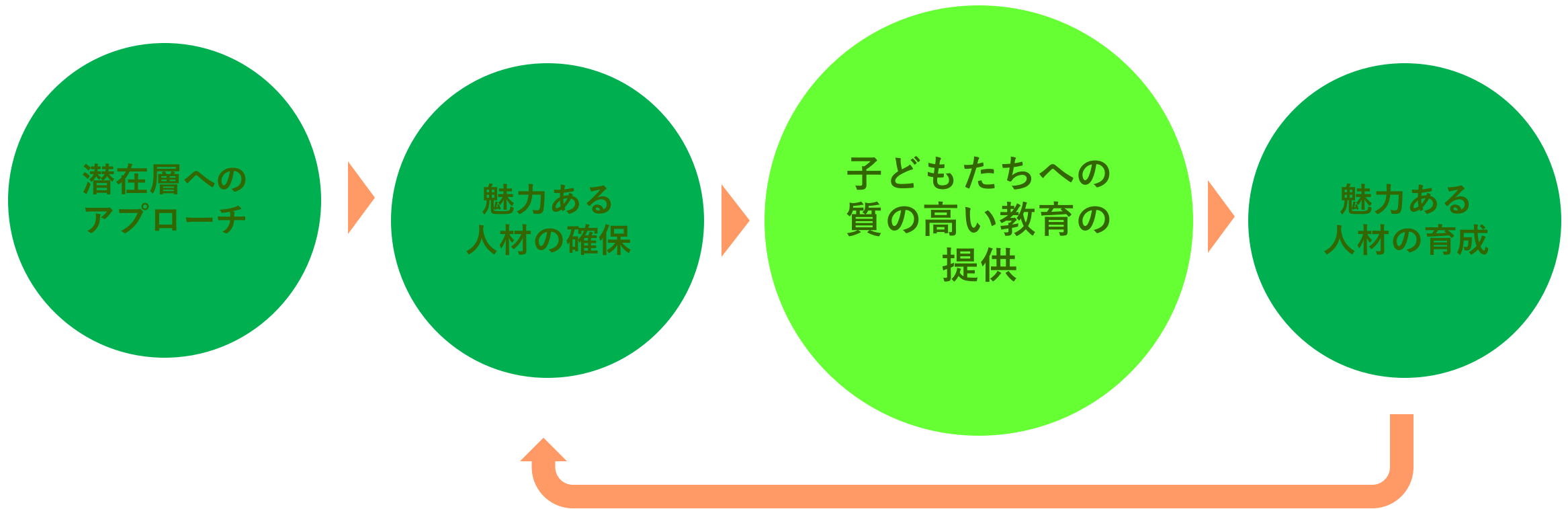
私たちは、今一度、原点に立ち返り、広報とは何か、本当に必要としている人たちに届く情報発信とは何か、効果的なメッセージを届ける手段はほかにないのか、改めて考え直すことにしました。

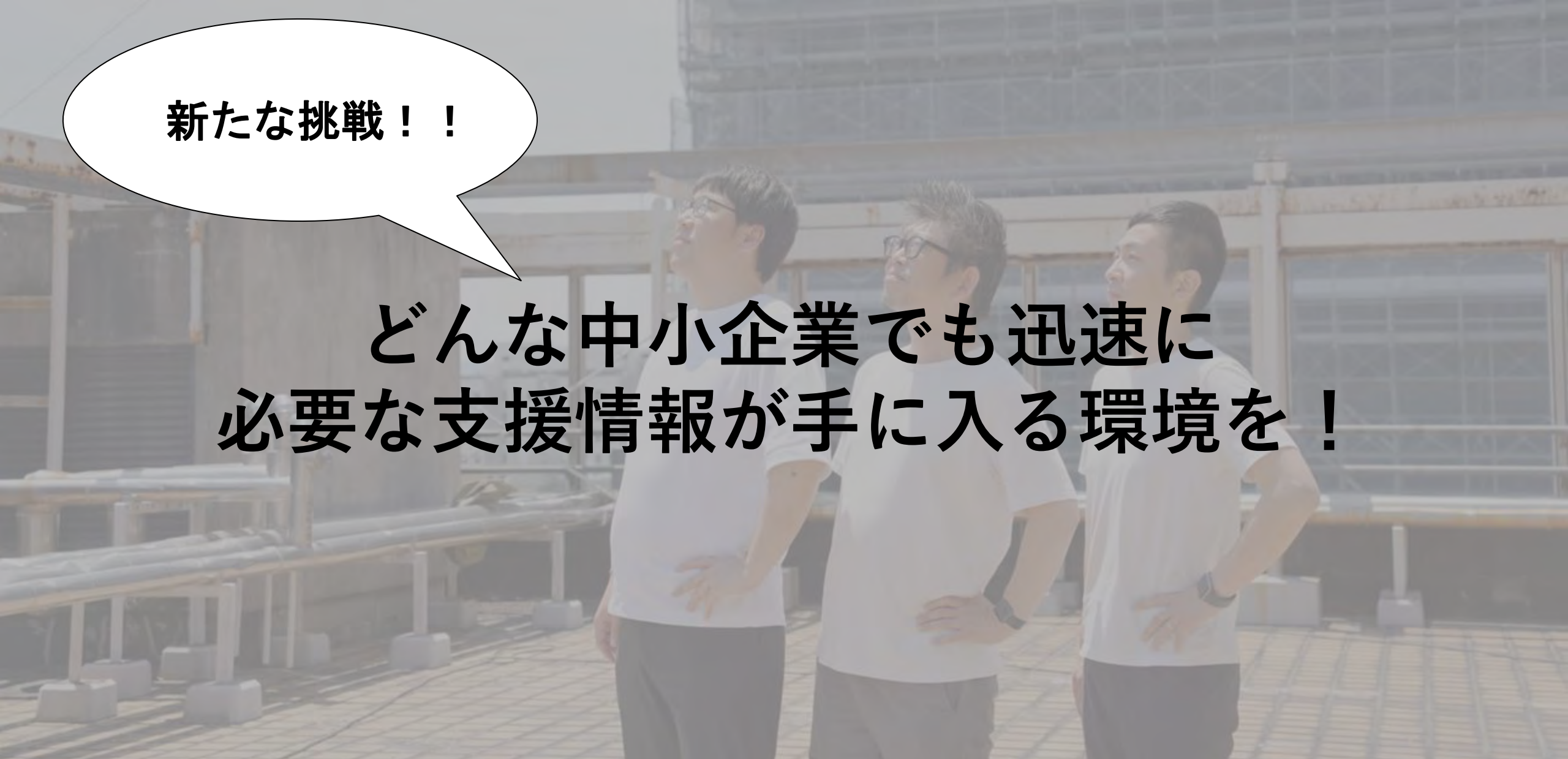


3. 今回取り組みたいこと



4. 実証のゴール、その先に実現したい未来



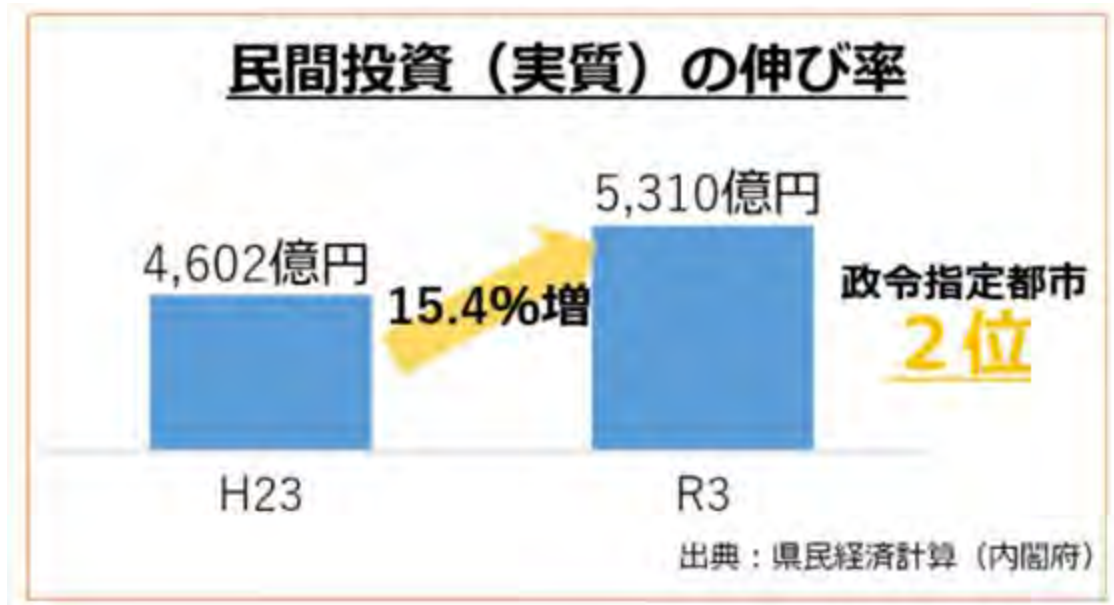
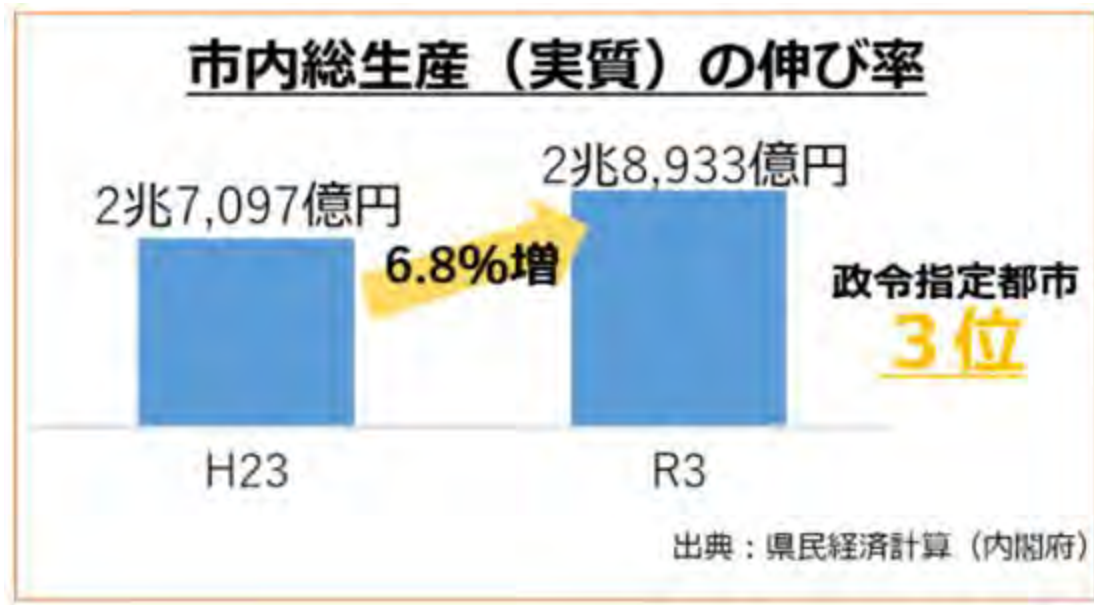
A background image showing three men in white t-shirts standing on a construction site, looking up at a building under construction. A speech bubble is positioned in the upper left corner.

新たな挑戦！！

**どんな中小企業でも迅速に
必要な支援情報が手に入る環境を！**

産業振興課

1. 解決したい課題、その背景①



岡山市の経済は、平成23年から10年間の市内総生産の伸び率が、政令指定都市の中で3位、民間投資の伸び率が、政令指定都市で2位となるなど、順調に成長しており、その発展を牽引する市内中小企業は成長のため絶えず新たな情報を求めている。

1. 解決したい課題、その背景②



中小企業事業者向けの数多くの
支援策



岡山市商工部のメニューだけでも 60 以上

わが社に合う
支援策はないかな



2. 課題に対してこれまでやってきたこと



これまでの発信方法

- 公式ウェブサイト
- 広報誌「市民のひろば」
- LINEセグメント配信
- 商工会議所会報
- ・・・etc.



- ・ 情報が一方方向
- ・ 個々の事業者の状況に合わせれない
- ・ 伝わっているかどうか不明

3. 今回取り組みたいこと①



AIなどの新しい技術や、行政では、思いもつかない新しい手法によって、複雑な支援情報を整理し、事業者が必要とする情報を分かりやすく取得できる環境を整備したい。



3.今回取り組みたいこと②

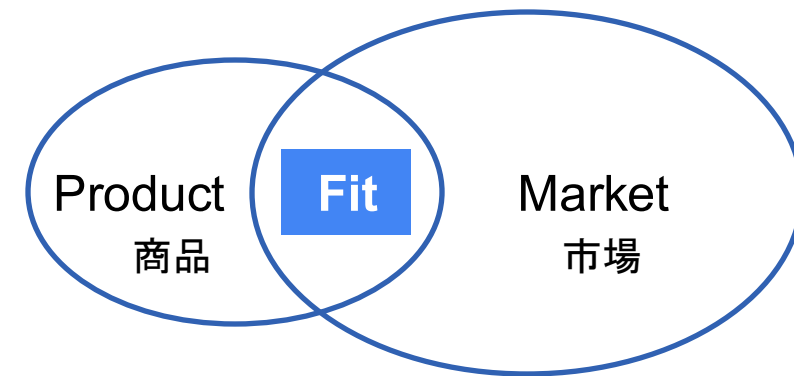
想定するアウトプット

ネット上の情報収集や募集要項やパンフレットを読み込ませれば自動的にデータベースを更新できるサービス



提案してもらう技術の実証フィールド

岡山市のネットワークにより市内事業者とつなぎ、**PMF（プロダクトマーケットフィット）**の社会実証フィールドを提供します



4. 実証のゴール、その先に実現したい未来



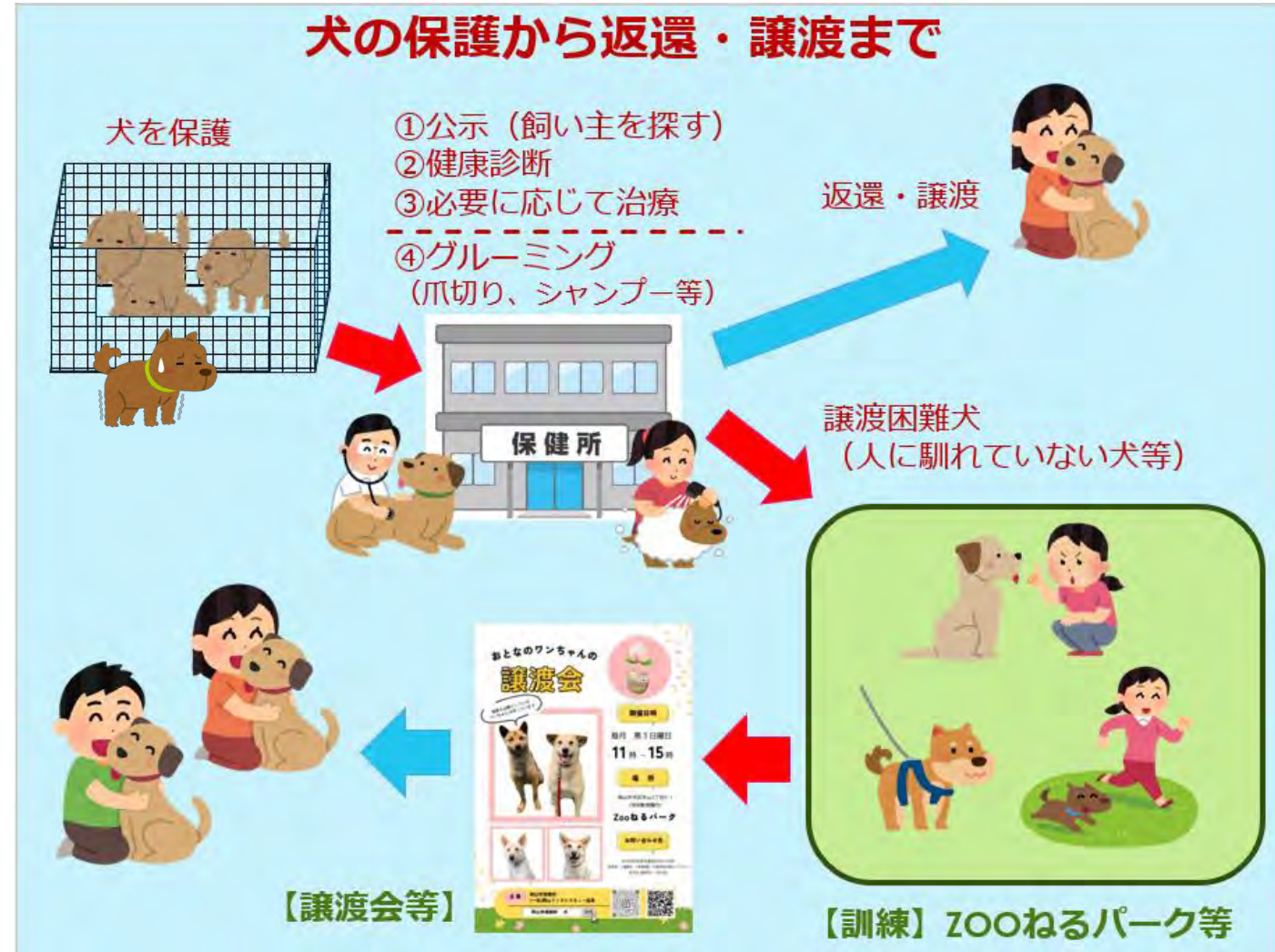
- 市内で活動するすべての中小企業が、必要な情報を迅速かつ的確に手に入れ、それを成長の糧として事業を飛躍させられる社会
- 情報が中小企業にとって真の力となり、新たな挑戦やイノベーションを後押しすることで、地域全体がより一層活性化していく
- 中小企業が本当に求めている情報を、ストレスなく、最適なタイミングで取得できる。
そんな理想的な情報環境の仕組みを、ぜひ皆様と共にデザインし、実証実験を通じて形にしていきたい



殺処分ゼロの先へ。
保護犬の未来を拓く譲渡戦略とは？

保健所衛生課

1. 解決したい課題、その背景



～保護犬の人馴れ訓練プロジェクト～



1. 解決したい課題、その背景

- ・ 殺処分は0（ゼロ）、譲渡も捕獲も順調！
- ・ 特に捕獲は従来と比べて格段に効率アップ！

しかし、

動物の保護数が譲渡数を上回る！



成犬の収容能力を大幅に超過

- ・ 不十分な飼育環境（動物の心身の健康への影響）
- ・ 飼育管理を行う職員の業務負担増加

人馴れ訓練による譲渡実績

年度	収容頭数	うち譲渡対象犬	ZOOねるパーク訓練犬					前年度からの繰越頭数
			うち子犬	うち要訓練犬 (野犬の成犬)	譲渡頭数	譲渡内訳		
						ボラ譲渡	一般譲渡	
R2	216	169	153	16	14	12	2	10
R3	246	192	153	39	12	6	6	13
R4	230	204	147	57	19	5	14	13
R5	206	166	118	48	35	7	28	27
R6	246	208	128	80	33	6	27	32

増加

増加



2. 課題に対してこれまでやってきたこと

- 譲渡会の開催
 - ・ 定期または予約制での開催
 - ・ 他イベントへの積極的な参加
- SNSの活用
YouTube, Instagram, Facebook, LINE等
- 各種メディアの活用
テレビ、ラジオまたは新聞等の取材受入れ



3. 今回取り組みたいこと

- これから犬を飼おうとしている人をターゲットとして情報発信戦略を立案・実行する！
 - 効果的なSNSの活用法、他のイベントとの連携、あるいはオンライン譲渡システムの構築等
- 特に中型・雑種の保護犬の譲渡促進に効果があると思われる提案を受け付けます！



4.実証のゴール、その先に実現したい未来

提案された企画に基づき、新たな飼い主となってくれる潜在層がどこにいるのか、どんな人たちなのかをこの実証実験で把握。



結果を踏まえて、特定のターゲットにアプローチを行い、譲渡促進につなげる。



保護される動物が、新しい家族に巡り合い、人と犬が安心して幸せに暮らすことができる共生社会の確立を目指す！





新たな手法・ツールで
公園をよりよい場所に
してみませんか！

公園の隠れた声を発掘！ 真のニーズ把握で公園をよりよい場所に

庭園都市推進課



1. 解決したい課題・背景

解決したい課題

「声なき声」を拾いたい！

- ・ 表面化していないニーズや意見
- ・ 静かな多数派のニーズや意見
- ・ 民間企業の事業アイデアや参画意欲



真のニーズを把握し、
よりよい公園を目指す！

効率的

効果的

新手法
新ツール

継続的

網羅的

背景

従来のヒアリング・アンケート調査

調査・分析手法

- ・ 調査手法が、マンネリ化（HPや紙など）
- ・ 調査結果の分析は、クロス集計止まり



調査範囲

- ・ 積極的に意見を表明する層
- ・ 特定のグループに偏り



マイナス意見

- ・ ○○もしてくれたらよかった
- ・ 以前の○○の方がよかった





2.課題に対してこれまでやってきたこと

調査報告書

◆ 公園利用者調査 ◆ (岡山県公園協会)

＜アンケート調査の目的＞
本会は岡山県公園協会に加盟している公園があり、このたび、よりよい公園づくりのためアンケート調査を実施することになりました。皆様方の貴重なご意見をお願いします。

※ 各設問の回答するものに○をつけて下さい。() 内はご記入願います。

問1 あなたご自身のことを教えてください。

【性】 男 女

【年 齢】 小学生(以下も含む) 中学生 高校以上の1世代
40～49代 50～59代 60代以上

問2 どちらから使われましたか?

() 県 () 市 () 区 () 町・村

問3 公園に利用されるまでの主な交通手段は何ですか?

1 徒歩 2 自転車 3 バイク 4 バス 5 自動車
6 その他 ()

問4 この公園はどのような頻度で使われますか?

1 ほぼ毎日 2 週に数回 3 月に数回 4 年に数回
5 初めて利用

問5 この公園を知りましたか?

1 近くにある 2 知人から 3 新聞・雑誌 4 インターネット
5 その他 ()

問6 どちらから使われましたか?

1 一人 2 家族 3 友人 4 団体 5 その他 ()

問7 ペットを連れて来ることはありますか?

1 はい 2 いいえ

「利用者アンケート」

今後の参考にさせていただきますのでアンケートにご協力をお願いします。

Q1 施設に対するご意見・ご要望等をご記入ください

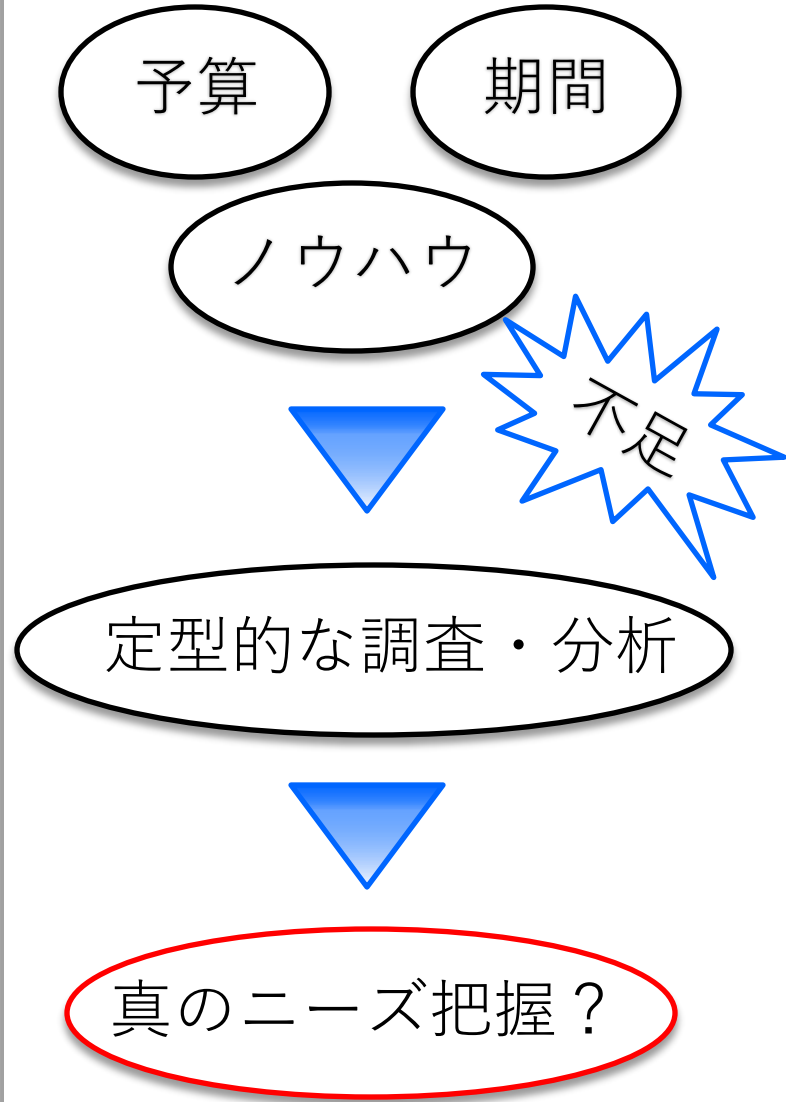
Q2 職員への対応はどうでしたか(言葉遣い、接客対応等)

Q3 その他何かございましたらご記入ください

Q4 性別、年齢を教えてください

性別: 男 性 女 性
年齢: 1 10歳以下 2 10～19歳代 3 20～29歳代 4 30～39歳代 5 40歳以上

★ご協力ありがとうございました。 公益財団法人岡山県公園協会

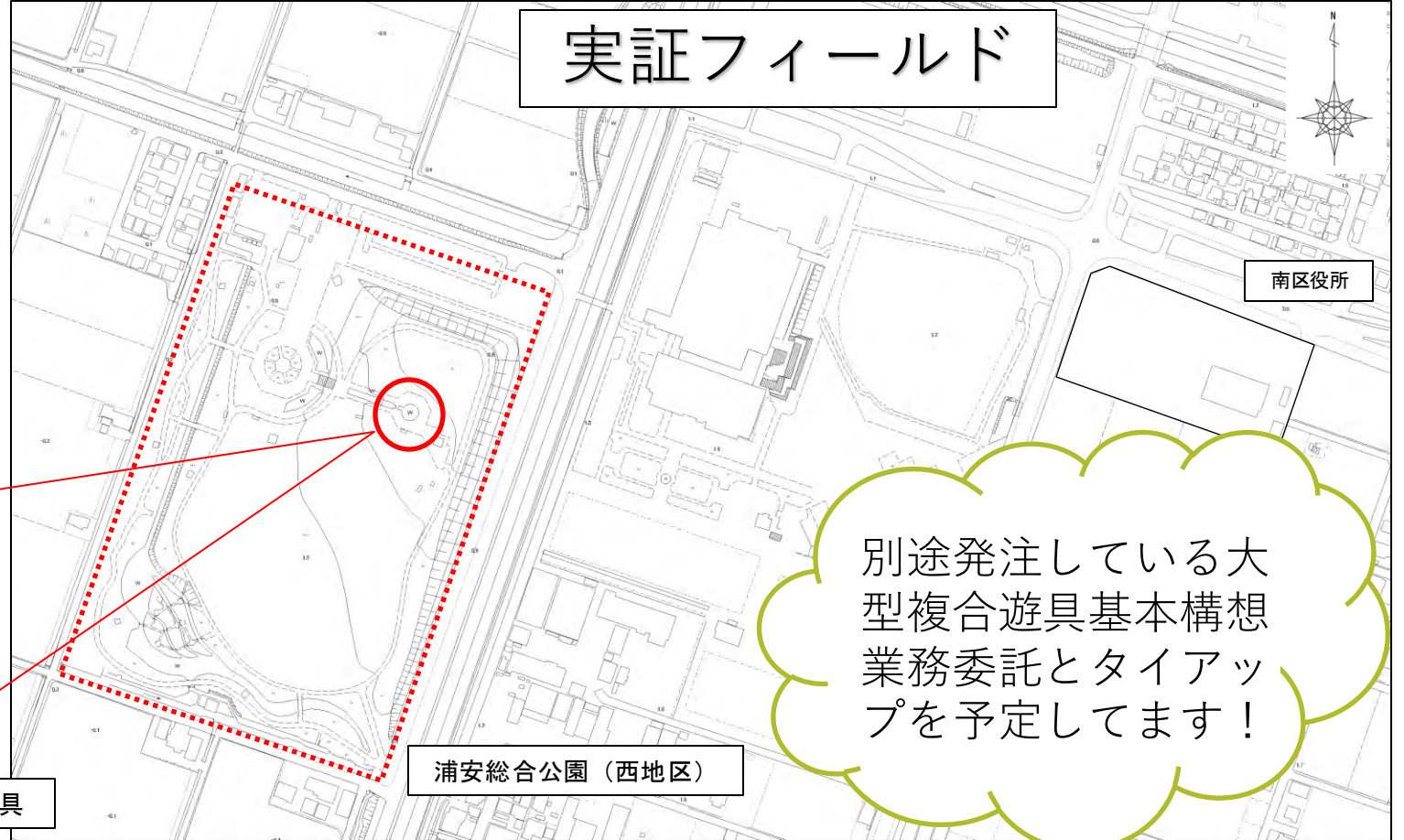




3.今回取り組みたいこと



対象遊具



提案

最新の技術
ユニークなアプローチ



利用者の行動パターンや満足度、
改善への要望などを多角的に収集・分析





4. 実証のゴール・その先に実現したい未来

実証のゴール

真のニーズ把握の
手法やツールの有効性の確認



計画策定や日常的な管理・運営業務に活用

その先に実現したい未来

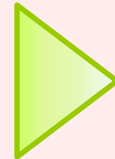
企業

- ・ 専門的な知見
- ・ 自由な発想力



職員

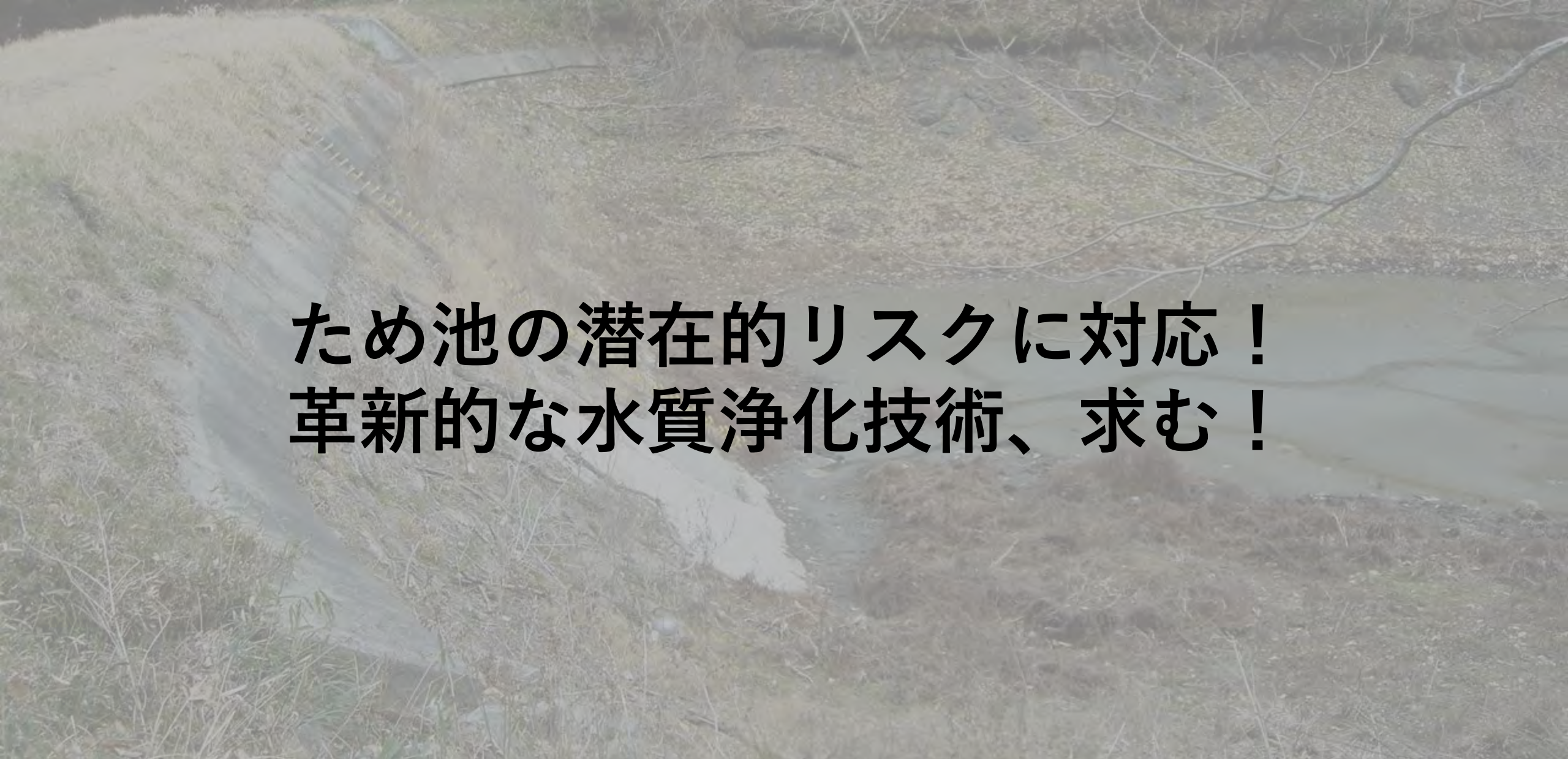
- ・ 課題意識
- ・ 想い



常識にとらわれない、
新しいあり方や価値の創出

利用者の真のニーズに基づいた
誰もが満足できる魅力的な公園の実現





**ため池の潜在的リスクに対応！
革新的な水質浄化技術、求む！**

農村整備課

1. 解決したい課題、その背景

前提となる事項

- 岡山市内に管理台帳上でも約1, 400のため池がある。
- 瀬戸内の少雨な気候が多くのため池を存在させている。

ため池の抱える課題

- 耕作者の高齢化、農業者の減少により、管理が困難となっている。
- ため池が決壊した場合、甚大な被害。
- 生活排水流入などが原因の水質悪化。
- ◎近年ため池の水質汚染の報告がある。一見清浄な水からも検出。
- 作物や人への影響が懸念される。
- ◎風評被害が懸念される。



2.課題に対してこれまでやってきたこと

- ため池管理の課題について、除草など日常管理に業者委託などで対応
- 水位管理などについては、遠隔監視機械の導入検討
- 市街地の水質悪化については、底泥の浚渫などで対応
- 老朽化した危険なため池は、ため池の改修や廃止で対応
- ◎しかし、水質汚染については近年出てきた課題で対応できていない状況。



河川名等	調査地点 (★印は新規調査地点)	R6.9.6~11.2.9	R7.1.2.3 (今回発表分)
		130 ng/L	59 ng/L
		60 ng/L	—
		100 ng/L	—
		61 ng/L	—
		28 ng/L	—
		17 ng/L	—
		160 ng/L	140 ng/L
		—	110 ng/L
		100 ng/L	86 ng/L
		—	12 ng/L
		27 ng/L	—
		73 ng/L	20 ng/L
		55 ng/L	—
		15 ng/L	—
		37 ng/L	—
		11 ng/L	—
		44 ng/L	—
		13 ng/L	—
		81 ng/L	—
		320 ng/L	290 ng/L
		200 ng/L	180 ng/L
		200 ng/L	—
		160 ng/L	—
		85 ng/L	—
		—	440 ng/L
		100 ng/L	84 ng/L
		99 ng/L	—
		97 ng/L	—
		55 ng/L	—
		74 ng/L	61 ng/L
		12 ng/L	—
		24 ng/L	—
		6.0 ng/L	—

※暫定指針値:50 ng/L



3. 今回取り組みたいこと

- 今回、**水質汚染が報告されているため池**において、浄化効果の実証と、効率や費用をつかみたい。
- 山間のため池はアクセスが困難であったり、電力も供給されていない場合があるが対応できるか。
- 活性炭などで浄化した場合その処分は適切にできるのか。
- そのような都合の良い対策があるのか提案をいただきたい。



4. 実証のゴール、その先に実現したい未来

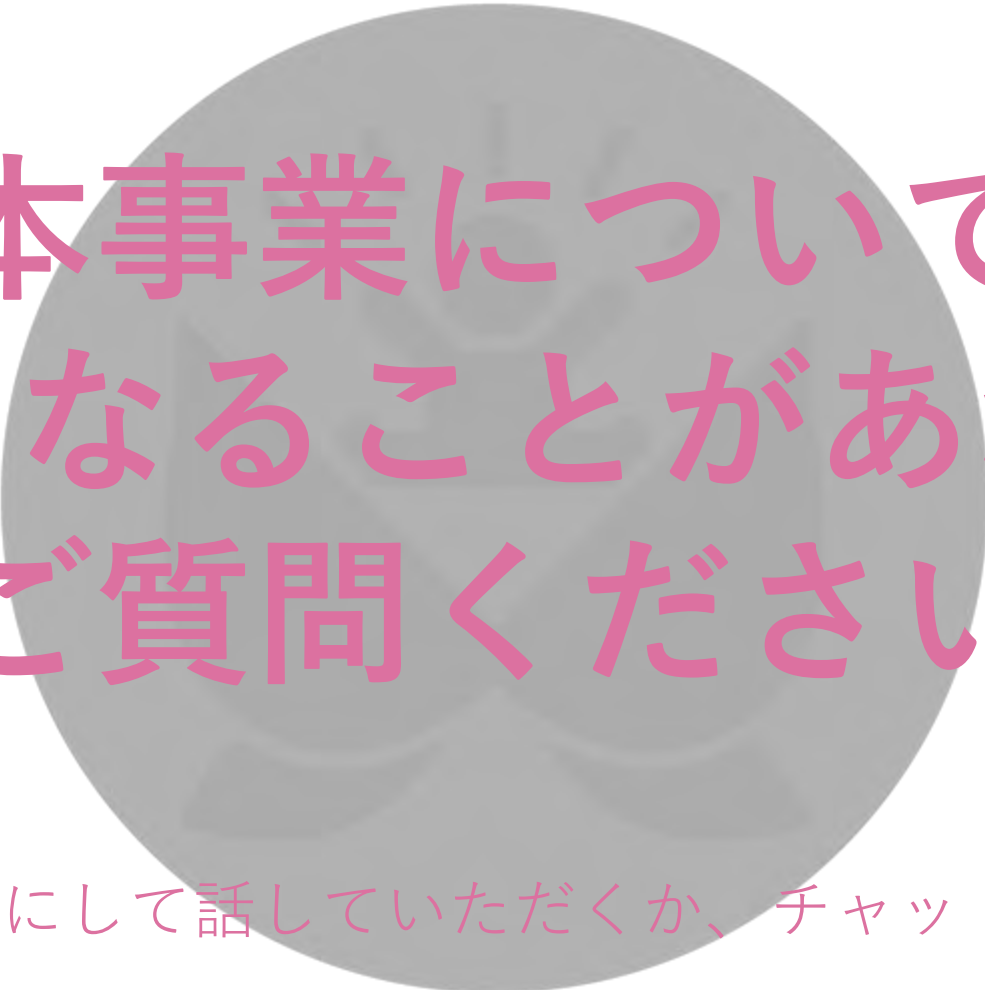
- 本来、天水の清浄な水で栽培されている作物が、見えない汚染物質が検出されたことで、耕作や人への影響は僅少で問題がないとしても、**風評被害**にあう可能性はある。
- これを取り除く**手段を確立**していれば、被害の回避ができるのでは。
- 営農が安心して継続**できるよう提案をいただきたい。





発表お疲れさまでした！

全体Q&A



本事業について
気になることがあれば
ご質問ください

マイクオンにして話していただくか、チャットでもOK！

よくある質問

Q. 実証支援金を超える費用がかかった場合は請求できますか？

A. 今年度の実証にかかる費用でお支払いできるのは、課題1件あたり50万円（税込み）上限となっています。超過する部分については、ご負担をお願いします。

Q. 提案前にもう一度担当部署と話したいのですが。

A. 提案前に個別に担当部署と面談することはできません。今日の時間内にぜひご確認ください。審査の中で担当課と面談の機会がございますので、その際に詳細なすり合わせが可能ですので、まずはご提案いただけますと幸いです。また、最終審査前に提案書の更新も可能です。

担 当 課 と の

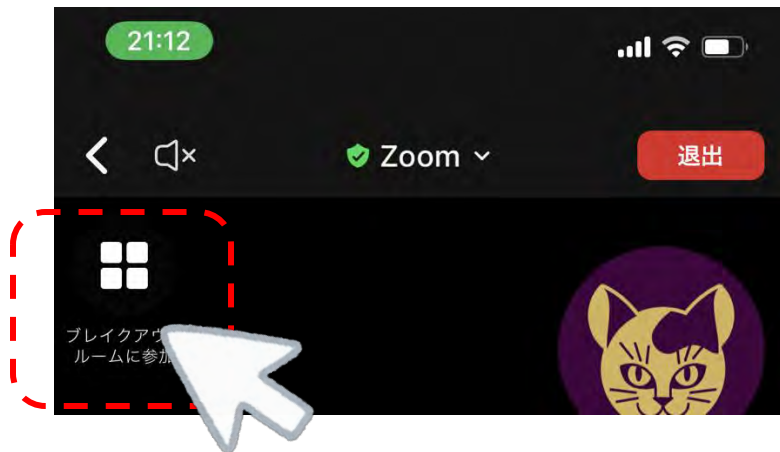
ディスカッション

参加方法

画面下部のブレイクアウトルームボタンを押し、部屋を選択して、入室してください。



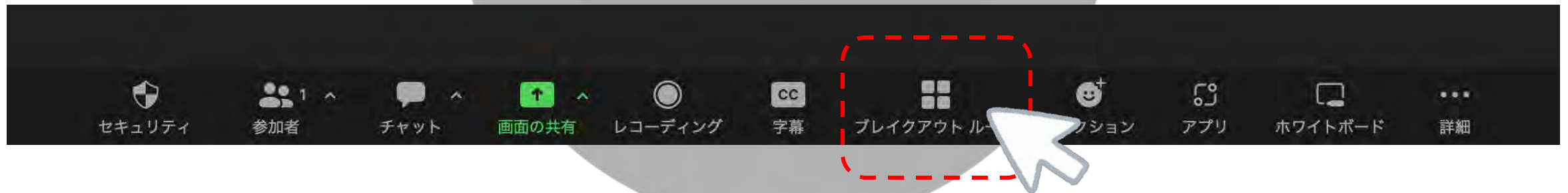
スマホの方は、画面左上のボタンから入室してください。



参加にあたってのお願い

- 課題ヒアリングの場合なので、**分からないことは何でも聞いてください。**
 - **ただし、何が正解か決まり切っていない可能性もあります。**
- 競合する企業同士かもしれませんが、**カメラをオンにしていただけると会話しやすくなります。**
- 課題解決に向けた**前向きな議論を一緒に**しましょう。
- **ご提案の熱い想いは応募フォームへ！**

ブレイクアウトルームにて 担当課とのディスカッション 開催中です



関心のあるルームにご参加ください

最

後

に

アンケートのお願い

本日の感想など、ぜひ聞かせてください。以下のアンケートへ回答いただくと、本日使用した資料のダウンロードが可能です。





皆さまのご応募を
お待ちしております！